

日本アルジェリア協会第 17 回定例総会の結果報告

会員の皆様

第 17 回定例総会が、6 月 19 日駐日アルジェリア大使公邸にて行われたところ、総会の結果は以下の通りです。

1. 冒頭ミラット大使ご挨拶：

- ・アルジェリアは石油・天然ガスなどの炭化水素資源に頼ることなく、自給自足経済を目指し、特に鉱物資源の開発に力を入れていきたい。
- ・アルジェリアは伊、独、西、カタール、中、米等と経済関係を強化している。また、IMF や世銀からも地域の安定勢力として評価されている。
- ・日本からもアルジェリアへの一層の投資を歓迎したく、政府や経済界等関係方面にも鋭意働きかけている。

2. 総会成立の確認：

表決時の会員数 123、定足数 41（会員の 1/3）、表決参加者数 66（総会出席者 27、書面議決書 23、委任状 16）により、総会が成立しました。

3. 議案の採決：

第 1 号議案 2025 年度活動報告及び会計報告、
第 2 号議案 2026 年度活動方針及び収支予算案は何れも拍手で可決・承認されました。
料理教室については前向きに検討中である旨紹介されました。

4. 今後の行事に関する自由討議：

議案の採決後に、若干の時間を割いて今後の行事についての出席会員の希望を聴取したところ、アルジェリア音楽関連の講演会の提案がありました。理事会で検討していくこととなりました。

また総会後には公邸で大使主催の懇親会が行われ、クスクスやアルジェリアのデザートが提供されました。

日本アルジェリア協会会長 小川和也